

日本・英国・米国における中等歴史教科書の比較研究：戦争に関する学習内容を事例にして

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2020-07-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 佐藤, 克士 メールアドレス: 所属:
URL	https://mu.repo.nii.ac.jp/records/1324

日本・英国・米国における中等歴史教科書の 比較研究

— 戦争に関する学習内容を事例にして —

A Comparative Study on the History Textbooks of Secondary Schools in Japan, the UK, and the USA: Focusing on War-related Learning Contents

*
佐藤 克士
SATO Katsushi

1. 問題の所在

本研究は、日本・英国・米国では、戦争がどのように取り上げられ、どのように教えられているのかを、中学校用の歴史教科書の分析を通して明らかにするものである。具体的には、第一次世界大戦（1914 年）から冷戦終結（1990 年）までの期間の戦争に関する学習（以下、戦争学習）を対象に、内容構成、学習課題（指示や問い）、叙述等の異同について比較研究を試みようとするものである。

五味文彦ほか (2011) 『新しい社会 歴史』東京書籍……………日本
Caroline Beechener, Clive Griffiths and Amanda Jacob eds., (2004) *THINK HISTORY! 3
MODERN TIMES 1750-1990*, Heinemann ……………英国
James West Davidson and Michael B. Stoff eds., (2009) *America: History of Our Nation*,
Prentice Hall ……………米国

さらに、本研究では上述した視点による分析結果を踏まえ、学習の結果として学習者に形成・育成される認識、能力及びそれらの分析結果から導出される内容構成の論理（歴史教育観）や歴史教育課程の特質についても論究していく。

2. 日本の歴史教科書における戦争学習の特質

(1) 内容構成

教科書の内容構成に関して、日本の歴史教科書の全体構成は、第一次世界大戦～第二次世界大戦までを1つのまとまり（第6章）で学習し、冷戦に関しては、「戦後日本の発展と国際社会（第7章第1節）」の一部で学習する展開となっている。また、1単位時間にあたる見開き2頁の内容を見てみると、1単位時間（50分）で1の主題（テーマ）を学習する構成になっている。具体的には、左頁中段に本時の主題と問い（学習課題）が設定されており、右頁の下段に学習した内容を振り

* 武蔵野大学教育学部

返るための作業指示が明示されている。また、上述した問い（学習課題）や作業指示に解を導き出すためのヒントとして中央部に文章が、周辺部にグラフや写真（図）などがおおよそ半分ずつの割合で配置されている。

(2) 学習課題

設定されている学習課題（問い及び作業指示）に関して、分析対象の範囲（第一次世界大戦開始～冷戦終結）に設定されている問い（学習課題）及び作業指示を抽出すると以下のように整理される（第1表）。第1表のように、ほぼ全ての問い（学習課題）が「○○は、どのように（またはどのような）～なのでしょう。」というHow型の問い（＝社会的事象の目的、手段・方法、構造、過程、相互関係を求める問い）で構成されている。一方で、社会的事象間の因果関係を捉えさせる説明的知識（概念的知識）の獲得を促すWhy型の問いは設定されていない。上記に関連する説明的知識（概念的知識）の獲得を促す学習活動に関しては、例えば「ファシズムの台頭について、次の二つの国（イタリア、ドイツ）を取り上げて、それぞれの原因の経過をまとめましょう。」等、一部「作業指示」の箇所にもみられる。

第1表 日本の歴史教科書に設定されている学習課題

章	節	主題	●問い [上段] □作業指示 [下段]	頁
第6章 二度の世界大戦と日本	第1節 第一次世界大戦と日本	1 第一次世界大戦	●第一次世界大戦はどのようにして起こり、日本はどのようにかわったのでしょうか。 □第一次世界大戦が、それまでの戦争とちがう点を二つあげましょう。	pp.184・185
		2 ロシア革命	●ロシア革命はどのようにして起こり、どのような特徴を持っていたのでしょうか。 □ロシア革命によって成立したソ連と、他の欧米諸国とのちがいを、次の三つの語句を使って説明しましょう。 [共産主義/国有化/計画経済]	pp.186・187
		3 国際協調の高まり	●第一次世界大戦後の国際関係は、どのように変わっていったのでしょうか。 □第一次世界大戦前後で、どのような変化が起こったか、箇条書きでまとめましょう。（例）東ヨーロッパや北ヨーロッパの国々が独立する。	pp.188・189
		4 アジアの民族運動	●第一次世界大戦のアジアでは、どのような運動が起こったのでしょうか。 □五・四運動、三・一独立運動の影響について、それぞれ説明しましょう。	pp.190・191
		5 大正デモクラシーと政党内閣の成立	●大正デモクラシーは、どのようにして高まっていったのでしょうか。 原敬内閣の特徴を三つあげましょう。	pp.192・193
		6 広がる社会運動と普通選挙の実現	●デモクラシーの風潮は、どのような運動に発展していったのでしょうか。 □それぞれの社会運動について、次の二つの視点でまとめましょう。 [①運動をになった団体・人物 ②求めた内容]	pp.194・195
		7 新しい文化と生活	●都市を中心に広がった新しい文化は、どのような特色を持っていたのでしょうか。 □大正時代に普及したり、流行したりしたものについて、次の三つに分類し、それぞれまとめましょう。 [①メディア ②学問・文芸 ③生活]	pp.196・197
			●世界恐慌は、世界にどのような影響をあたえたのでしょうか。	

第7章 現代の日本と世界	第2節 世界恐慌と日本の中国侵略		☐ 世界恐慌に対する、イギリス、米国の対応を、それぞれ説明しましょう。	pp.198-199
		2 欧米の情勢と日本	● イタリア、ドイツ、日本は、世界恐慌に対してどのような対応をしたのでしょうか。 ☐ ファシズムの台頭について、次の二つの国を取り上げて、それぞれの原因の経過をまとめましょう。【①イタリア ②ドイツ】	pp.200-201
		3 日本の中国侵略	● 満州事変はどのようにして広がり、日本の政治はどのように変化していったのでしょうか。 ☐ 満州事変後の日本のできごとや、国際社会での動きについて、それぞれまとめてみましょう。	pp.202-203
		4 日中全面戦争	● 日中戦争は、中国や朝鮮、日本人々の生活にどのような影響をあたえたのでしょうか。 ☐ 日中戦争の広がりによる影響について、国内と植民地などに分けて、それぞれ説明しましょう。	pp.204-205
	第3節 第二次世界大戦と日本	1 第二次世界大戦の始まり	● 第二次世界大戦はどのようにして起こり、どのような経緯をたどったのでしょうか。 ☐ 第二次世界大戦中のドイツの動きを、箇条書きでまとめましょう。 (例) 1939年9月、ポーランドに侵攻する。	pp.206-207
		2 太平洋戦争の開始	● 太平洋戦争はどのようにして起こり、各国は日本に対してどのように対応したのでしょうか。 ☐ 太平洋戦争が始まるまでのできごとを、箇条書きでまとめましょう。 (例) 1941年4月からの日米交渉が始まる。	pp.208-209
		3 戦時下の人々	● 戦争の長期化は国民や植民地、占領地の人々の生活にどのような影響をあたえたのでしょうか。 ☐ 戦争が長期化した影響を、箇条書きでまとめましょう。 (例) 文科系の大学生が軍隊に招集される（学徒出陣）。	pp.210-211
		4 戦争の終結	● イタリア、ドイツ、日本はどのような経緯をたどって降伏したのでしょうか。 ☐ 日本の降伏までの動きを、次の三つのできごとを中心にまとめましょう。【①本土への空襲 ②沖縄戦 ③原子爆弾の投下】	pp.212-213
	第1節 戦後日本の発展と国際社会	1 占領下の日本	● 戦後の日本では、どのような占領政策が行われていたのでしょうか。 ☐ 敗戦後の日本の様子について、次の三つの語句をつかって説明しましょう。【領土/GHQ/軍隊】	pp.226-227
		2 民主化と日本国憲法	● 占領下の日本では、どのような改革が行われたのでしょうか。 ☐ 上の「憲法の比較」の表を見て、戦後の日本が戦前と比べてどのように変わったか説明しましょう。	pp.228-229
		3 冷戦の開始と植民地の解放	● 冷戦はどのようにして始まり、また植民地の解放はどのようにして進んだのでしょうか。 ☐ 冷戦では、どのような勢力どうしが対立したのか、次の三つの項目で東西に分けて、それぞれまとめましょう。【①経済体制 ②中心の国 ③アジアの国】	pp.230-231
		4 独立の回復と55年体制	● 日本はどのようにして国際社会に復帰し、国内ではどのような動きがあったのでしょうか。 ☐ 1950年の朝鮮戦争の開始から、1960年の安全条約改定までの日本の動きを、箇条書きでまとめましょう。 (例) 1954年に自衛隊が発足する。	pp.232-233
		5 緊張緩和と日本外交	● 緊張状態が進展する中で、日本はどのような外交関係を結んでいったのでしょうか。 ☐ 独立回復後の日本の外交上の動きについて、箇条書きでまとめましょう。 (例) ソ連：1956年に日ソ共同宣言に調印する。	pp.234-235

	6 日本の高度経済成長	●日本の経済が成長する中で、国民の生活はどのように変化していったのでしょうか。 □高度経済成長による日本の変化を、次の三つの分野についてまとめましょう。〔①産業・経済 ②生活 ③環境〕	pp.236-237
--	-------------	--	------------

((1)をもとに筆者作成)

(3) 叙述（戦争の取り上げ方）

戦争の取り上げ方に関しては、日本の歴史教科書では、第二次世界大戦に日本がいかに関わったのかを中心に学習する構成となっている。具体的には、戦争に関する具体的な事実を詳細に理解するというより、国内外の政治・経済・文化等、様々な事象と関連付けて、戦時中の我が国の社会の様子を総合的に理解することをめざす構成になっている。換言すれば、戦争という歴史的事象を一つの窓口（手段）として、（当時の我が国の）社会の様子を理解する構成になっている。このことは、『平成20年版中学校学習指導要領解説 社会編』（以下、『指導要領』）に「（内容の取扱い）オ オの『第一次世界大戦』については、日本の参戦、ロシア革命なども取り上げて、世界の動きと我が国との関連に着目して取り扱うようにすること」⁽²⁾ という記述を踏まえた構成になっていると判断できる。

(4) 学習の結果として期待される認識・能力等

学習の結果として期待される認識・能力等に関して、日本のそれは、図や絵（写真）及び文章などの資料に含まれる歴史的事象から情報を読み取ったり、または分析したりすることを通して、当時の社会の様子をできる限り正確に理解し、その過程で獲得した知識を活用してまとめたり、説明したりすることができる能力の育成がめざされている。例えば、第7章第1節「1 占領下の日本」では、「戦後の日本では、どのような占領政策が行われていたのでしょうか。」⁽³⁾ という学習課題をもとに、米軍が行った占領政策の方法を理解することを通して、学習後には先述した学習課題を解決する過程で獲得した知識を活用して説明する活動（「敗戦後の日本の様子について、次の三つの語句（領土／GHQ／軍隊）をつかって説明しましょう。」）が組込まれている。これら一連の課題や作業を繰り返すことより、上述した能力が育成されることが期待されていると判断できる。

(5) 内容構成の論理

冷戦の取り上げ方に関して、後述する英国・米国の歴史教科書では、第一次世界大戦から冷戦に至る20世紀を代表する3つの戦いを一連の出来事として取り上げられているのに対して、我が国では第一次世界大戦から第二次世界大戦までを「二度の世界大戦と日本（第6章）」、それ以降を「現代の日本と世界（第7章）」として区切り、前者を「戦前・戦中」、後者を「戦後」という枠組みで内容を構成している。したがって、他国のそれとは異なり冷戦だけが戦後の該当する出来事として位置づけられている。このような特質が見られる背景には、『指導要領』の「改訂の要点」に示された「ア 我が国の歴史の大きな流れを理解する学習を一層の重視」及び「ウ 近現代の学習の一層の重視」という内容が大きく関わっている⁽⁴⁾。具体的に冷戦に関する記述を見てみると、「国際連合の発足、米ソ両陣営の対立、アジア諸国の独立、朝鮮戦争、その後の平和共存の動きなどを、我が国の動きと関連させながら取り扱う」⁽⁵⁾ や、「この時期の我が国は、第二次世界大戦後の大混乱の中から民主的な文化国家を目指して再建と独立の道を歩み、冷戦など世界の動きとの

かわりの中で、経済や技術革新の急速な発展を成し遂げた時期であり、近現代の学習を一層重視し我が国の現代の特色を捉えさせる観点から、『(6) 現代の日本と世界』という大項目を設けて、独立させた」⁽⁶⁾ という説明が示されている。このように日本の歴史教科書では、第二次世界大戦の敗戦を節目として時代区分することで、戦後の民主的で平和的な国家として再建し、国際社会の中で急速に発展した国であるという「我が国の歴史の大きな流れを理解する」⁽⁷⁾ とともに、「現代の社会についての理解を深める」⁽⁸⁾ 構成になっている。さらに、このような自国史を中心として内容を編成し、その理解を深める学習を行うことを通して、教科の目標に掲げられている「我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深める」⁽⁹⁾ ことをめざす構成となっている。

3. 英国の歴史教科書における戦争学習の特質

(1) 内容構成

教科書の内容構成に関して、英国の歴史教科書では、大きく 3 つのテーマが設定しており、戦争学習は、主題 3 の第 8 節に位置づけられている（第 2 表）。

第 2 表 ” THINK HISTORY! 3 MODERN TIMES 1750-1990 ” の目次

主題	節	頁
主題1：革命	1 農業の変化は、革命だったのか？	pp.4-77
	2 工業の変化は、革命だったのか？	
	3 労働者階級の反応：全ての人々は、農業と工業の変化に賛同したのか？	
	4 人々は、票を得るためにどんな政治的なハードルを克服しなければならなかったか？	
主題2：正義と自由	5 奴隷制度から市民権まで：米国の黒人がした経験とは、何だったのか？	pp.78-147
	6 大英帝国はどれぐらい偉大だったのか？	
	7 1914-45にヨーロッパに住んでいたユダヤ人の生活は、どのように変化したか？	
主題3：二十世紀の戦争で変化する性質	8 なぜ、戦争は起こったのか？	pp.148-220
	9 20世紀の戦争は、どのように変わったのか？またそれはなぜか？	
	10 20世紀の間、一般人への戦争の影響は、変化があったのか？	

((10)をもとに筆者作成)

具体的に、主題 3：第 8 節「なぜ、戦争は起こったのか？」では、第一次世界大戦 (1914～1918)、第二次世界大戦 (1939～1945)、冷戦 (1945～1990) という 20 世紀を代表する 3 つの主要な戦争がなぜ起こったのか、その発生原因を理解することをめざす構成となっている。それぞれの内容の割合に関しては、「導入」が 2 頁、「第一次世界大戦」が 5 頁、「第二次世界大戦」が 8 頁、「冷戦」が 10 頁となっており、学習が進むにつれ、学習内容も充実する構成となっている。また英国の場合、日本のそれとは異なり、見開き 2 頁で 1 単位時間分という形式的な区切り方がではなく、学習者

への学習課題や作業指示等の設定位置や、またその分量に関しても小單元ごとに異なり一定の規則性で構成されていない。逆に言えば、様々な問いや活動を促す作業指示が組込まれており、学習者が飽きずに学習に取り組めるような工夫が施されている。唯一、各小単元の冒頭に、学習を通して理解して欲しい内容として「目的 (Objectives)」という項目が設けられていることや、終盤に学習の振り返りを促す「全体を通して、まとめ (Plenary)」が設定されている点に規則性を見出すことができる。その他、教科書中の本文に関して、米国のそれとは異なり記述量が非常に少なく、日本のそれと比べても高度な読解力を修得していない学習者でも理解できるよう基本的に箇条書き(短い文)で書かれている。逆に、地図や絵(写真)、学習者に思考を促す「課題 (TASKS…)」が非常に充実した構成となっている。このような構成によって戦争の起こった原因を鋭く分析させると共に、質の高い認識形成がめざされている。

(2) 学習課題

設定されている学習課題(問い及び作業指示)に関して、主題3:第8節「なぜ、戦争は起こったのか?」に設定されている問い及び作業指示を抽出すると以下のように整理される(第3表)。第3表から明らかなように英国の歴史教科書では、ペアまたはグループ、時にクラス全体で「○○しなさい。」というように、学習者本人への問いかけや作業指示の他に、それを他者と議論したり、(協働で)作業したりすることを要求する指示が多く設定されている。このような特質は、日本の歴史教科書には見られない。上記のような活動により学習者は、各自が理解または解釈した内容を必然的に他者との交流で対象化され、批判にさらされることとなる。このような機会が組込まれていることにより、批判に耐えられない独りよがりの解釈や、独断と偏見に満ちた歴史観は、学習者間の交流を通して、防止・修正されることとなろう。このような他者との議論により歴史を解釈・理解する方法は、歴史家が歴史を解釈・理解する方法と同様であり、英国の歴史教科書にもその原理が垣間見られる。換言すれば、歴史とは社会的事象の解釈・理解によって構築(更新)された(る)ものであるという社会構成(構築)主義の考えが、英国の歴史教育観ないしは歴史教育課程に底通していると判断できる。

第3表 英国の歴史教科書に設定されている学習課題

節	小單元名	●問い □作業指示	頁
	第一次世界大戦の原因は何だったのか?	●この会話について、あなたはどんな質問をしますか? ●□あなたは歴史的な証拠として使われているコメディ番組を使うことに、何か問題は考えられますか? あなたの答えに関して、理由を出して下さい。 【学習課題(TASKS…)】 1. 第一次世界大戦の原因を提示してある大きなマインドマップを作るためにペアか小集団で作業しなさい。 □a)大きな紙の上で、戦争の5つの主な主題(あなたが、149頁で見た以下に示す主題)を位置づけなさい。 □b)さて、第一次世界大戦につながるヨーロッパの緊張を示す151-152頁の情報を学習しなさい。 ●□c)それぞれのポイントであなたの図のどの主題が関連しているのか、判断しなさい。マインドマップ上の正しい見出しの下に点を書きなさい。そして、どうして戦争が起きたのか明らかな原因を述べなさい。 □d)あなたは、あなたの図の原因の一部が複数の主題と関連付けて考えるだろう。もしそうだとしたら、第一の原因から第二の原因に向かって矢印を描きなさい。それと同様にこの主題とつながる理由を矢印の上に説明しなさい。 □2.あなたの作業が終わったとき、あなたの図と似ているかを見るために、あなたの図と他のグループ	150p 153p

なぜ、戦争は起こったのか？	第二次世界大戦の原因は何だったのか？	の図を比較しなさい。あなたが下した判断を他のグループに説明しなさい。	
		【学習課題(TASKS...)】 1. 1914年に戦争に行ったヨーロッパの国々の順序を示す地図を見なさい。 □a) あなたのマインドマップに大公の殺害に関する詳細をあなたのマインドマップに適切に書き加えなさい。 ●□b) なぜ、フランツ・フェルディナント大公の殺害が第一次世界大戦に繋がったのか、についてすぐに、解決しなさい。あなたが考える多国間の関係を説明するために、段落またはこれを示すためにフローチャートを描きなさい。 ●2. あなたが考える第一次世界大戦の最も重要な原因は何か？あなたは、間接的な原因は何だと考えますか？また直接的な引き金が、どのように1914年に戦争を起こした最大の役割を果たしましたか？	154p
		【全体を通して、まとめ(Plenary)】 ●□あなたは 150 頁中の Blackadder の引用に同意するか？ その理由を説明しなさい。	
		□あなたは、第一次世界大戦の変化によって、どの国が最も動揺していると考えるか？その理由を説明しなさい。 □これらの変化が起こった理由としては何が考えられますか？あなたの考えをパートナーと議論しなさい。 ●AがBを引き起こすのを助けた原因として何が考えられますか？	156p
		【学習課題(TASKS...)】 □1. ドイツ人がベルサイユ条約を説明するために使用するであろう形容詞の一覧を作成しなさい。 □2. この節の中の全ての情報を使って、どうして多くの歴史家はベルサイユ条約が第二次世界大戦の重要な原因であると信じるのかを説明しなさい。	157p
		【学習課題(TASKS...)】 1. 資料C～Gを見なさい。それらは、ドイツ人にヒトラーが約束したものを説明している。 ●a) それぞれの資料に関して、あなたはどのようにして1933年にドイツの人々にその約束が訴えかけたのだと思いますか？ □b) あなたの考えをパートナーと共有しなさい。 □2. 再度、約束を見なさい。そして、それらを3つのグループに分けなさい。 ・戦争を引き起こさないだろう原因 ・戦争を引き起こすかもしれない原因 ・明らかに戦争を引き起こした原因 ●□3. あなたは、ヒトラーに最も多くの票をもたらした約束は、どちらだと思いますか？あなたの答えを説明しなさい。 □4. 再び149頁の5つの戦争の主題を見て、マインドマップをつくりなさい。第二次世界大戦の原因を示すために、第一次世界大戦（153頁を見て）の空欄を埋めたように、ヒトラーの約束のそれぞれがどの主題に当たるのかを判断し、あなたのマインドマップに書きなさい。あなたは、「戦争を引き起こすかもしれない」か「明らかに引き起こすだろう」と選択した約束だけをやればいいのである。 ●□5. あなたは、ヒトラーの約束と第一次世界大戦の原因の間には、どのような関連や類似点があると思いますか？小集団やクラスで議論しなさい。	159p
		【学習課題(TASKS...)】 □1. ペアを組んで、あなたは1933年と1939年の間に英国政府へのアドバイザーだと想像しなさい。160～161頁に記述されたヒトラーの行動に対して、あなたは政府の対応方法について、どのようなアドバイスをするか決断する。あなたは、それぞれの状況で実際に与えられた選択肢から選ぶかもしれないし、あなた自身のアドバイスをやるかもしれない。それぞれの状況で、考えを示す吹き出しにある情報を考慮することを忘れてはいけない。	
		【学習課題(TASKS...)】 □1.a) 1933年と1939年の間の戦争への道を要約し、フローチャートに描きなさい。その上で、あなたは、ヒトラーがした行動と連合国の反応を示さなければならない。 ●□b) あなたのフローチャートを見なさい。あなたは、どのように1つの出来事が別の出来事に至ったのか、わかりますか？あなたは、第二次世界大戦は避けることができたと思いますか？この節の情報を使い、この問題に答えるためにいくつかの段落（文章）を書きなさい。あなたを助けるために以下のガイドラインを使いなさい。 ・連合国がよりすぐにヒトラーに対して行動したならば、第二次世界大戦が避けられたかもしれない方法を説明するために一段落書きなさい。 ・あなたの次の段落で、なぜ、第二次世界大戦は避けることができなかったのか、ヒトラーの行動と信念をもとに、説明しなければならない。 ・あなたが学習した証拠に基づいて、第二次世界大戦は避けられることができたかどうかについてあなたの全体的な意見を短い結論で書きなさい。 □2. 第二次世界大戦のためにあなたが作ったマインドマップを見なさい（159頁）。地図上の適切な主題に近くに、第二次世界大戦の原因について詳細を加えなさい。	162p

なぜ、戦争は起こったのか？

冷戦の原因は何だったのか？

【全体を通して、まとめ(Plenary)】 ●□あなたは、原子爆弾の産物は、将来多かれ少なかれ戦争を起こすと思いますか？この問題をパートナーや学級で議論しなさい。	163p
【学習課題(TASKS...)】 □1. ジョンは資本主義者で米国に住んでいる。また、アレクサンダーは共産主義者でソビエト連邦に住んでいる。以下は、彼らの生活についてジョンまたはアレクサンダーどちらかの発言である。 a) 人々は、彼らの支配者を選ぶために投票する。少なくとも2つの政党があり、選挙は5年ごとに行われる。 b) 私は、国のためにお金をかせぐため一生懸命に働く。人々は、彼らが平等になるまで本当の自由ではない。自由でなかったら、金持ちのためだけである。 c) 私は特別な許可で自国の外側に自由に旅行することができる。しかし、政府は国民のために財産を供給することに使わなければならない。それは、休日に旅行へ行くことよりもっと重要である。 d) 私は、所有する店の商品を売るために、仕入れたり、請求するために値段を決めたりすることができる。このようにして私は財政的利益を得ることができる。 e) 新聞は、政府の間違いや評判の良くない行動を私に知らせる。 f) 人々は、彼らの興味を惹きつける1つの政党に投票することができる。 g) 私たちの社会(仕組み)は、平等に基づいている。その国家は、全ての事業を所有し、その国の人々は、国をより豊かにするために一生懸命働いている。貪欲なものだけは、自分自身のために利益を保持しておきたいと望む。 h) 政府は、新聞社を所有している。なぜなら、全てのものは、国家が所有しているからである。新聞は、政府が人々の世話をするために何をしているのかを私に教える。 i) 私は、3つの寝室がある家を所有している。私は、違う場所に引っ越したいとときにはいつでも自分の家を売ることができる。 j) 私は、自分自身のために一生懸命働きお金を稼ぐ。人々は、彼ら自身の努力で作ることができるのと同じくらい多くのお金をかせぐことができなければならない。 k) 我々の管轄下では、財産の個人的な所有はない。政府は、全ての財産を所有し、その資源を人々に提供するために使用する。 l) 私は、いつでも好きな場所に休日に行くことができる。私が稼いだお金で、海外での高価な休日の支払いができる。 ●□2 ジョンは、アレックスの生き方についてどのように考えるとあなたは思いますか？ペアで考えを書き留めなさい。 ●□3 アレックスは、ジョンの生き方についてどのように考えるとあなたは思いますか？ペアで考えを書き留めなさい。 ●□4 冷戦に向かって、あなたが確認した資本主義と共産主義間で確認された違いについて、あなたはどのように考えますか？あなたの考えを学級で議論しなさい。	165p
●あなたは、米国と東ヨーロッパ連合国は、地図の示すソビエト連邦の行動によってどうして心配したのだと思いますか？	166p
●ソビエト連邦は、ウィンストン・チャーチルの“鉄のカーテン”の演説の考えをどう思っているでしょうか？	
【学習課題(TASKS...)】 ●1. 資料Bを見みなさい。漫画家は、チャーチルの演説について何を言いたかったのだと思いますか？ ●2. 資料Bは、冷戦の証拠としてどのように役立ちますか？あなたの答えの理由を与えなさい。 □3. 以前あなたが、第一次世界大戦や第二次世界大戦（153頁～159頁）のように他のマインドマップに描きなさい。あなたが、発見した冷戦の原因を適切な主題の下にダイアグラムに加えなさい。	167p
【学習課題(TASKS...)】 1.a) (上記の) 出来事は、2つの超大国間における緊張の他の原因について何を教えますか？ □b) 冷戦のマインドマップにこの原因を加えなさい。 □2. 冷戦の間、核兵器の存在に対するたくさんの抗議やキャンペーンがあった。確証破壊戦略論を使い、戦争を防止する方法として、核兵器の存在を阻止する手紙を書きなさい。	168p
●1945年のヤルタ会議で決定されたドイツの境界とあらゆる問題を考えることができますか？ ●□ドイツをどうすべきか、よりよい解決策を考えることができますか？あなたの解決策と、その（それがよりよい解決策であると考え）理由を説明しなさい。	169p
●想像しなさい。あなたは西のアドバイザーです。あなたはこの問題に対処する西側にどのようなアドバイスをしめますか？思い出しなさい。あなたは、ベルリンを諦めないし、共産主義が広がることを許可しないが、ソビエト連邦と戦争したくない。 ●どうして、ベルリンをうまく管理し続けるために空輸を許可したり、ソビエト連邦とのリアルな戦争を避けたりしたのだと思いますか？ ●資料Cを見なさい。スターリンは銃を発砲すると思いますか？それはなぜですか？	170p

	【学習課題(TASKS...)】 1. 今は1949年5月で、スターリンはベルリン封鎖を終了した。 □a) ペアで、ベルリン危機についてのラジオレポートを準備しなさい。ペアの内1人は、英国のラジオを報告し、もう一方はソビエト連邦のラジオを報告する。両者とも、ベルリン閉鎖があなたの国にとって勝利であったと主張しないといけない。するとその正当な理由の違いは、違うものにならなければならない。 あなたを助けるために以下のガイドラインを使い、あなたのレポートを書きなさい。 ・あなたが作った名前を言うことによって、あなたの報告を簡単に紹介しなさい。 ・次にあなたは、ベルリンで起こっていたことの概略を述べる必要がある。関連する出来事と国々を、あなたがどちら側にいるか明確にしながら描写しようとしなさい。例えば、英国のレポートは、違法／不当／絶望的／秘密としてスターリンの封鎖を記述するのに対して、空輸は英雄的／名誉ある／勇敢な／高潔なとして記述されるかもしれない。 ・しかしながら、ソビエト連邦のレポートは、正当化された／利口な／勇敢な／合法的なとしてスターリンの封鎖を記述するのに対して、空輸は卑怯な／絶望的な／無謀な／高価なとして記述されるかもしれない。 ・あなたの記述した出来事を配列するために、その後、一方で、なぜなら、しかしながら、それにもかわらずなどの接続詞を使いなさい。 ・最後に、あなたの国が勝った理由に基づく一部の証拠を使って、どちら側が勝ったのかについてのあなたの国の判断を示す必要がある。あなたは、実際は、したがって、このように、確かになどの説得力のある接続詞を使用する必要があるだろう。 □b) あなたが放送が終わったとき、学級の他の友達にそれを提示しなさい。ペアとしてあなたは、英国軍とソ連軍が出来事をいかに違うふうに解釈するかをはっきり示していることを確認しなければならぬ。 □2. 第二次世界大戦の結果は、どのように冷戦に貢献したのかを説明するために短い文章を書きなさい。	171p
	【学習課題(TASKS...)】 ●□1なぜ、北大西洋条約機構とワルシャワ条約の存在はとても危険だと思いますか？1914年に起こったことまで遡って考えなさい。 □2. 167頁で開始したマインドマップに戻り、あなたが冷戦の原因について発見したことを加えなさい。 □3. あなたのマインドマップは、この節で扱われたそれぞれ3つの戦争について、すぐに完成したはずである。それらを注意深く観察し、そしてそれらの戦争の原因についてあなたが発見した共通点と相違点を学級で議論しなさい。 ●□4. 戦争は起こる理由について、この章の中の節から学んだものの中で、あなたが最も重要な点は何だと思いますか？あなたの答えを説明しなさい。	172p
	【全体を通して、まとめ(Plenary)】 □WS3～4名の班で作業しなさい。あなたは、BBCの制作者であると想像し、以下の要約を与えられた。 ・あなたは、“なぜ、戦争は起きたのか”というタイトルの15分間の歴史ドキュメンタリー番組を作らなければならない。 ・あなたは、20世紀の対立に焦点を当てなければならない。 ・あなたは、あなたの番組の視聴者が、異なる対立間の関係やそれらの原因に気付くように作らなければならない。 ・あなたの番組は、興味深く、ためになり創造的でなければならない。 すぐに、あなたのドキュメンタリー番組を作成しなさい。	

((11)をもとに筆者作成)

(3) 叙述（戦争の取り上げ方）

戦争の取り上げ方に関して、英国の歴史教科書では、第3表の小单元名を見ても明らかなように、第一次世界大戦・第二次世界大戦・冷戦のそれぞれの戦争がなぜ起こったのか、戦争の本質に関わる発生原因を理解することが目指されている。すなわち、戦争の本質に関わる発生原因を理解する題材として戦争が取り上げられている。我が国の歴史教科書と比較すると、我が国のそれは、戦争を題材にして自国の戦争への関与及び当時の社会の理解することに重点が置かれているのに対して、英国のそれでは、あくまで戦争が発生する本質的原因を他者との議論を通じて理解することに重点が置かれている点に違いが見出される。また英国では、これらの個々の戦争が起こる

原因の理解を通して、最終的に単元冒頭の目的に示されている「全ての戦争には同じ原因があるのか？」また「戦争が起こりうる原因とは何なのか？」という個別的な事象（個々の戦争）に共通する一般命題（概念）の獲得をめざす内容構成（取り上げ方）となっている。

(4) 学習の結果として期待される認識・能力等

学習の結果として期待される認識・能力等に関して、英国の歴史教科書では、上述した個々の戦争に内在する原因について探究することを通して、それらに共通する一般命題（概念）の獲得をめざす内容構成となっていた。つまり、学習者はこのような学習を通して、戦争が起こる原因を冷静に分析する眼を養うとともに、それを批判的に検討する能力の育成が期待される。また、このように戦争が起こる原因を様々な国（立場）や、「軍国主義」や「同盟」、「観念形態」等の中核となる概念（主題）をもとに検討することを通して、1つの事象を多面的・多角的に分析する能力の育成も期待される。さらに、他者との交流（議論）や作業などを通して、コミュニケーション能力や表現力等の育成も期待されよう。

(5) 内容構成の論理

内容構成の論理に関して、英国の歴史教科書は、英国で使用されている教科書であるにも関わらず、自国に関する情報があまり記載されていない。厳密に言えば、戦争の学習を通して、自国（英国）がどのように関わったのか、自国と戦争との関係を中心に理解する内容構成になっていない。あくまで、3つの主要な戦争が起こった原因を「課題(TASKS…)」に示された問いや作業指示を他者との交流を通して理解する構成となっている。このような構成は、「戦争に自国がどのように関わったのか」ということについて理解をめざす我が国や米国のそれとは全く異なる原理で内容が編成されている証左であると判断できる。一方で、学習者自身が資料をもとに問題を発見し、それを探究して解を導き出すということが困難な構成になっている。具体的には、「なぜ、〇〇は起こったのか？」という単元を貫く大きな問いが各小単元の名称に示されており、それら問いに対する解を導くための下位の問い（作業指示）が「課題(TASKS…)」に既に設定されている。学習者は、これらの問い及び作業指示をこなしていくことで、単元を貫く大きな問い（戦争の原因）やそれらに関連する様々な知識を構造的に獲得する構成になっている。しかし、ある種の丁寧すぎる計画的な配慮（“お膳立てされた構成”）が、逆に学習者の興味・関心を疎外し、自ら問題を発見する能力の育成を構造的に困難にしている要因になっていると言ったら言い過ぎだろうか。

4. 米国の歴史教科書における戦争学習の特質

(1) 内容構成

教科書の内容構成に関して、米国の歴史教科書では、第二次世界大戦に関する学習が大きく4つのセクション（節）で構成されている。具体的な内容は以下の通りである（第4表）。

第4表 “America” 「第24章 第二次世界大戦時代 1935-1945」の小単元名及び学習内容

節	小単元名	学習内容
1	武力侵略が戦争につながる(pp.802-807)	1930年代、ドイツ・イタリア・日本の独裁者達は隣国を征服しようとし、新たな世界戦の火付け役となった。
2	戦争中の米国(pp.808-813)	米国は、日本の航空機がパールハーバーの米国の艦隊を爆撃した後、戦争に入った。
3	米国国内の状態(pp.816-820)	米国が戦争に勝とうと準備する中で、女性達は新たな機会を得た。しかし日系米国人は、厳しい制約を受けた。
4	勝利に向かって(pp.821-827)	フランスでの大規模作戦開始日の進行がヨーロッパでの最終勝利の第一歩になった。そして、原子爆弾の投下により太平洋戦争は終わりを迎えた。

((12)をもとに筆者作成)

第4表からも明らかのように、米国の歴史教科書では、第二次世界大戦に関する学習が4 セクション（25 頁）で構成されている。また、上記（本章に関わる内容）以外にも、約4 頁ずつの分量で学習前の説明や学習後の復習のための内容が組込まれている。例えば、前者に関しては「この章に入るにあたって (Chapter Preview)」という項において、各小単元の学習内容や米国と世界の出来事を比較する年表など学習者が本章の概要を理解することを助ける工夫や（pp.798-799）、歴史物を読む場合の留意点（言葉の意味を決定する際には、文脈に着目して読むこと）について具体的な資料を通して解説するなどの工夫⁽¹³⁾が施されている。一方、セクションごとの構成に関しては、全てのセクションに「目的 (Objectives)」、「読むために準備すること (Prepare to read)」、「背景知識 (Background Knowledge)」の項が設けてあり、それぞれの項目では各セクションの学習目標及び学習方法、学習の動機付けなどが記載されている。また、その他にも「主な考え方 (Main Idea)」や「批判的思考 (Critical Thinking)」、「単語力育成 (Vocabulary Builder)」、「言葉の手がかりを使って意味を分析する (Use Word Clues to Analyze Meaning)」、「チェックポイント (Checkpoint)」等、目的（目標）を達成するための補助的な問いや作業指示が本文及び頁の両側に配置されている。さらに、各セクションの終盤には、英国の場合と同様、各セクションの理解及び能力を確認する項目として「進行の確認 (Check Your Progress)」の項が設けられており、学習内容の習得状況を確認する機会が設定されている。日本や英国のそれと比べた場合、本文の分量が非常に多く、1 つ 1 つの内容が詳細に記述されている点に特質を見出すことができる。

(2) 学習課題

設定されている学習課題（問い及び作業指示）に関して、学習者の思考及び理解を促す問い及び作業指示を抽出すると以下のように整理される（第5表）。

第5表 米国の歴史教科書に設定されている学習課題

章	節	区分	●問い □作業指示	頁
第24章 第二次世界大戦	第1節 武力侵略が戦争につながる	批判的思考	●宣伝ポスターはいかにしてヒトラーのイメージをつくり出したのであろうか？	803p
		チェックポイント	●大恐慌によりヒトラーはどのように助けられたか？	804p
		地図マスター	●(a) 地図を解釈する：地図で示された侵略行為の初期のものにどのようなものがあつたか？	805p
			□(b) 情報を当てはめる：地図及びあなた方がこれまで読んできたことをもとにチェコで何が起こったかについて描写しなさい。	
		チェックポイント	●国際連盟は、いかにイタリアと日本の軍事侵略に対して応えたのか？	806p
		チェックポイント	●中立法の目的とは何だったのか？	
		チェックポイント	●1939年のナチ・ソビエト条約とは何だったのか？	807p
		理解と批判的思考	●1.(a)描写する：ヒトラーはドイツでどのような政府を作ったか？	
			●(b)比較する。ナチスドイツとスターリン下のソビエトはどのように似ていたか？	
			●2.(a)思い出す：フランスとイギリスはナチの武力侵略にどのように応えたか？	
			□(b)結論を見出す：フランスとイギリスはもし違った行動をとっていたら第二次世界大戦を避けることができたと思いますか？またその理由を述べなさい。	
		読解力	□3.言葉の手がかりを使って意味を分析する。例えば、トータリタリアン（全体主義者）という言葉の語感がどのように言葉全体の意味を理解する手助けするものになっているのかを説明しなさい。	
		単語力育成	●4.ナチスドイツのような全体主義的国家は、米国のような民主的国家とどのように違うのか？	
			●5.ファシズムの主な特徴とは何か？	
			●6.ドイツ・イタリア・日本は、どのように武力侵略を行ったか？	
			●7.ミュンヘン条約は、宥和政策の例としてどのような位置づけだったか？	
		作文	□8.図書館またはインターネットの資料を使って、この節の話題の中から1つを選び、その情報をもっと見つけなさい。話題の提案としては、ムッソリーニとファシズム、ヒトラーの誕生、ポーランド侵攻、チャーチル、イギリスの戦いなどを含む。また1つの話題の印刷されていない資料について少なくとも3つの情報源を特定し、そのリストを作り、その内容を詳しく説明しなさい。	
		チェックポイント	●1941年の武器貸与法とはどのようなものだったのか？	809p
		主な資料を読むこと	●(a) 意見を見つけ出すこと：デイヴィスは人種差別に対してどのような気持ちを持っているのか？	
			●(b) 利益を見つけ出すこと：デイヴィスは、アフリカ系米国人や米国が第二次世界大戦に参加することで、得られるであろう利益についてどのように思っているのか？	810p
		批判的思考	●過去と現在を結び付けよう：パールハーバーへの反応は、最近起こっている米国へのテロ攻撃の反応とどう似ているのか？	
		文章の手がかりを使って意味を分析する	●“不名誉の日”に何が起こったのか？ルーズベルトはこの出来事に対してどのように反応したのか？“不名誉”とはどういう意味なのか？	811p
		チェックポイント	●なぜ、日本は米国の軍隊を攻撃したのか？	

第24章 第二次世界大戦	第2節 戦時中の米国	地図マスター	●(a) 地図を解釈する：ここに示された戦いの中で、連合国軍の進軍の始まりを示すものはどれか？	812p
			□(b) 情報を評価する：1943年チュニスで起こったことを詳しく説明しなさい。	
		チェックポイント	●連合国軍の運命は、北アフリカでどのように変わったか？	813p
		チェックポイント	●パターン死の行進とは何だったのか？	
		理解と批判的思考	□1.(a) 見極める：ルーズベルト大統領が戦争の初期においてイギリスとの関係を強固にした2つの方法を挙げなさい。	
			●(b) ものの見方を見つける：なぜ、一部の米国人はこれらの行為を間違いだと思ひなしたのか？	
			●2.(a) 思い出す：1942年前半、なぜ連合国軍側にとってこの状況は悪く映ったのか？	
			□(b) 情報を当てはめる：スタニンググラード、エルラメイン、ミッドウェイという3つの場所は、戦争の転換点と見なされているが、なぜそのような見なされているのかを説明しなさい。	
		読解力	●3. 文章を手がかりとして使って意味を分析する：文中の手がかりを使って“残忍”という単語を分析しなさい。それは以下の文にある。ヒトラーはソ連を彼の残忍な攻撃に直面して、すぐ崩壊すると思っていた。この文章によると、ヒトラーはその行為が残忍であるという理由で、彼は何が起こるかと思っていたのか？そして“残忍な”とはどういう意味なのか？	
		単語力育成	□4. “全面戦争”という単語の二つの定義を書きなさい。一つは教師が使う正式な定義、もう一つは小さな子どもが使う非公式な定義である。	
		作文	□5. 印刷物またはインターネットの資料を使い、この節で議論された戦いまたは人々の内の一人を挙げ、そのより多い情報を見つけない。またその話題のプリントされていない資料から少なくとも3つの情報源を特定し、そのリストを作り、その内容を詳しく説明しなさい。	
	第3節 米国内の戦争	チェックポイント	●軍需生産委員会とは何だったのか？	817p
		批判的思考	●なぜこのポスターが今でも人気があるか、わかるでしょうか？	
		チェックポイント	●どの様な仕事を戦時中の女性はしていたのか？	818p
		批判的思考	●なぜ、この少年達は第二次世界大戦で居住地を離れなければならなかったのでしょうか？	
		チェックポイント	●なぜ多数の日系米国人は留置させられていたのか？	819p
		批判的思考	●この男性は何を主な点として抗議しているか？	
		チェックポイント	●アフリカ系米国人はどのようにして戦時中に人種間の平等を訴えたのか？	820p
		理解と批判的思考	●1. (a) 思い出す：米国は第二次世界大戦中どのような経済的な制限を受けていたのか？	
			●(b) 費用と有利な点を見極める：これらの制限の代償は、どのようなものであったか？また、これらの有利な点とはどのようなものであったか？	
			●2.(a) 思い出す：戦時中の西海岸の日系米国人には何が起こったのか？	
			●(b) 結果を見いだす：戦時中に人権を侵害する事は正当化できるのか？	
		読解力	□3. 文脈を読み解き意味を特定する：題、「メキシコ系米国人」に続く文章を読み、“苦勞”という言葉の意味を再認識しなさい。	
		単語力育成	□4. 列を三つ、欄を三つ作り最初の欄に次の鍵となる単語を書き記しなさい。「配給」、「留置」、「ブラセロ」（メキシコからの季節労働者）	

第4節 勝利に向かつて	進行の 確認	理解と 批判的 思考	読解力	単語力 育成	作文	□5. 下記的话题について、自分の意見を表す文章を、マルチメディアを使って作成なさい。 ・日系米国人の留置 ・戦争への女性の貢献 ・割当配給などの戦時中の工夫 □主要の意見をまとめた文を元にどのようなマルチメディアの道具を使うか考えなさい。	
						●なぜ、大規模作戦開始日が重要だったのか？	822p
						●(a) 地図を解釈する：大規模作戦開始日に連合軍の動きを説明しなさい。彼らは次にどこへ行ったのか？ ●(b) 情報を評価する：なぜ、部隊はスペインで移動したり戦ったりしなかったのか？	823p
						●神風戦争とは何だったのか？	825p
						●(a) 地図を解釈する：連合国は飛び石作戦だけでどれだけ日本に近づいてきたのか？ □(b) 順序を理解する：フィリピンの奪還につながる部隊の移動と戦いの順序を説明しなさい。	
						●どのような人々が、ナチスの収容所で殺されたのか？	827p
						●1.(a) 見極める：大規模作戦着陸とは何か？それは何を達成したのか？	
						●(b) 結論を見出す：あなたは、大規模作戦開始が失敗したとしたら、何が起ったと考えるか？	
						●2.(a) 思い出す：なぜ、米国は広島に原子爆弾を落とすことを決めたのか？	
						●(b) 選択肢を見極める：米国人が辿ったかもしれない他のコースとはどのようなものか？あなたは、爆弾を落とすという決定が正当化されたと思うか？	
						□3. 文脈を読み解き意味を特定する：「ナチスの犠牲者」と題する文章を再読しなさい。“annihilate”という単語の意味を決定するために、異なる手掛かりを使いなさい。またあなたが使った全ての手がかりがどこで見つかったのかを説明しなさい。	
						この章の正しい重要な用語で空欄を埋めなさい。 □4. ナチスの死の収容所を計画したリーダーは、 の罪で処刑された。 □5. の任務を実行するパイロットが死ぬことは確かだった。 □6. のキャンペーンは、連合軍隊が日本へゆっくり少しずつ動くことを許可した。 □7. ユダヤ人を皆殺しにするナチスの試みは、 の例だった。	
						□8. 「大規模作戦着陸は、第二次世界大戦の唯一決定的な戦いだった。」というマルチメディアレポートに関する命題声明を発展させる概略を作りなさい：その際、必ずマルチメディアの資料の意見を入れるようにしなさい。	

((14)をもとに筆者作成)

第5表の結果から、米国の歴史教科書は、日本のそれとは異なり問い及び作業指示に一定の規則性（形式）が見いだせない。逆に言えば英国と同様、様々な種類の問いや多様な学習活動を通じて、目的（目標）を達成する構成になっている。また、学習の振り返りを促す「進行の確認 (Check Your Progress)」に着目すると、大きく「理解と批判的思考 (Comprehension and Critical thinking)」、 「読解力 (Reading Skill)」 「単語力育成 (Vocabulary Builder)」、 「作文 (Writing)」 の4つの項目が設けてあり、学習者自身がどのような認識や能力を形成・育成する意図でそれら（問

いや作業指示）が設定されているのかがわかるようになっている。一方、「作文 (Writing)」の記述に注目すると、全ての箇所に「マルチメディア（またはインターネット）を活用して…」という内容が書き込まれており、PC 等の情報機器を活用して作業を促す指示が見受けられる。このような指示は、情報化の進展に伴う ICT の活用能力が求められる時代において、そのような能力（技能）を歴史教育でも育成しようという意図が読み取れる。これは、日本及び英国の歴史教科書には見られなかった米国の歴史教科書固有の特質である。

（3）叙述（戦争の取り上げ方）

戦争の取り上げ方に関して、米国のそれは、第二次世界大戦に米国がいかに関わったのかを中心に学習する構成となっている。このように戦争と自国との関わりを主軸に内容を構成している点では、日本の歴史教科書に類似している。しかし、日本の場合には、「日本が戦争にどのように関わり、国内外にどのような悪影響を与え、どのように敗戦したのか」というように“敗者の視点”で描かれた歴史を理解する構成であるのに対して、米国の場合には、「米国が戦争にどのように関わり、国内外にどのような良い影響を与え、どのように勝利を収めたのか」というように“勝者の視点”から描かれた戦争を理解する構成となっている点に違いを見出すことができる。具体的にこのような相違は、真珠湾攻撃及び広島・長崎への原爆投下の記述に端的に表れている。

（4）学習の結果として期待される認識・能力等

学習の結果として期待される認識・能力等に関して、米国の歴史教科書では、「進行の確認 (Check Your Progress)」に示されているように、歴史学習でありながら「理解と批判的思考 (Comprehension and Critical thinking)」、「読解力 (Reading Skill)」、「単語力育成 (Vocabulary Builder)」、「作文 (Writing)」等、他教科でも求められる汎用性の高い能力の育成をめざす構成となっている。上述の項目及び組込まれている文章量の多さを見ると、まるで我が国の“国語科”を連想させる。日本及び英国のそれと比較すれば、戦争に関する読み物（文章）を素材（手段）として、戦争そのものの理解に留まらず、批判的な思考力や文章読解（解釈）力の育成等、他教科及び他領域でも転移・応用可能な能力の育成に重点が置いた構成となっている点が米国の歴史教科書の特質である。

（5）内容構成の論理

内容構成の論理に関して、米国のそれは、歴史教科書であるにも関わらず、「地図マスター (MAP MASTER)」という項が設けてあり、地図の活用能力を育成する機会が設定されている。例えば、第 4 節では、第二次世界大戦中のヨーロッパの勢力図をもとに、連合国軍の動きを読み取らせたり、スペインが戦争の地にならなかった理由を説明させたりする問いや作業指示が設定されている⁽¹⁵⁾。このような地図をもとに、情報を読み取らせたり、説明させたりする活動が組込まれている。このような学習活動に関しては、英国の歴史教科書でも見られるが、日本ではみられない特質である。全体を通して、米国の歴史教科書は量・質ともに内容が充実おり、戦争を理解するための“読み物”としての完成度は非常に高いと評価できる。しかし一方で、このような教科書を使い、中等段階の学習者が「目的 (Objectives)」に示された理想とする理解・能力（技能）を達成することできるのか、という点に関しては疑問が残る。例えば、他国には見られないその充実ぶりは、翻ってみれば過剰すぎるほどの情報（内容）量であり、限られた時間内に学習者が内容を理解し、消化できるのか疑問である。ゆえに、教科書編集者の思いだけが先行し、学習対

象者である学習者の発達段階を踏まえた内容構成となっていないのではないかと危惧される。本教科書を教材として用いて授業を行う場合、筆者が指摘した内容をどのように回避しているのか、大変興味がある。なぜならこの点こそ、各小単元の「目的 (Objectives)」に示された項目を達成する上で極めて重要なポイントになると判断できるからである。

5. 日本・英国・米国の歴史教科書における戦争学習の分析から導かれる歴史教育課程の特質

本研究の目的は、日本・英国・米国の中等歴史教科書における戦争学習の分析を通して、内容構成、学習課題（指示や問い）、叙述等の異同や、学習の結果として学習者に形成・育成される認識、能力及びそれらの分析結果から導出される内容構成の論理（歴史教育観）や歴史教育課程の特質を明らかにすることであった。改めて、各国の特質を整理すると、日本の歴史教科書では、主としてHow型の問い（学習課題）や、それらの解を導出する過程において獲得する知識を活用して、戦時中の我が国の社会の様子を国内外の政治・経済・文化等、または関連する様々な事象と関連付け、総合的に理解することをめざす歴史教育課程となっていた。一方、英国の歴史教科書では、20世紀の主な3つの戦争の原因及びそれら3つに共通する一般命題(概念)について、ペアやグループ及びクラス全体で比較・検討することを通して自己の理解を相対化し、さらにこのような活動を経て、個人で構築した理解を集団の関わりの中で絶えず再構築（または更新）することをめざす歴史教育課程となっていた。そして米国の歴史教科書では、「米国が戦争にどのように関わり、国内外にどのような良い影響を与え、どのように勝利を取めたのか」という“勝者の視点”から描かれた戦争を理解することを通して、「理解と批判的思考 (Comprehension and Critical thinking)」, 「読解力 (Reading Skill)」等、他教科でも転移・応用することができる汎用性の高い能力の育成をめざす歴史教育課程となっていた。

以上を踏まえ、今後はこのような国によって異なる教科書及び歴史教育観（または歴史教育課程）の特質を参考に、これからの社会に求められる資質・能力を保証する社会科固有の教科書編成原理を検討していくことが課題である。

【注】

- (1) 五味文彦ほか (2011) 『新しい社会 歴史』 東京書籍 , pp.184-237.
- (2) 文部科学省 (2008) 『平成 20 年版中学校学習指導要領解説 社会編』 日本文教出版 , 85p.
- (3) 前掲 (1), 226p.
- (4) 前掲 (2), 4p.
- (5) 前掲 (2), 87p.
- (6) 前掲 (2), pp.86-87.
- (7) 前掲 (2), 13p.
- (8) 前掲 (2), pp.16-17.
- (9) 前掲 (2), 20p.
- (10) Caroline Beechener, Clive Griffiths and Amanda Jacob eds., (2004) THINK HISTORY! 3 MODERN TIMES 1750-1990, Heinemann.
- (11) Ibid., pp.148-172.
- (12) James West Davidson and Michael B. Stoff eds., (2009) America: History of Our Nation, Prentice Hall, 798p.
- (13) Ibid., pp.800-801.
- (14) Davidson and Stoff eds., op. cit. (12), pp.798-827.
- (15) Davidson and Stoff eds., op. cit. (12), 823p.